

## 株主メモ

決算期 11月30日  
定時株主総会 毎年2月  
基準日 定時株主総会 11月30日  
利益配当金 11月30日  
中間配当金 5月31日

名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
(電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417  
(その他のご照会) ☎0120-176-417

同取次所 住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
公告掲載新聞 日本経済新聞

ただし、貸借対照表及び損益計算書に係る情報は<http://www.micron-grinder.co.jp>において掲載いたします。



## ミクロン精密株式会社

山形県山形市蔵王上野<sup>うの</sup>578番地の2 〒990-2303  
電話 (023) 688-8112 (代) ファクシミリ (023) 688-8545

## 第46期 事業報告書

平成16年12月1日～平成17年11月30日





代表取締役会長  
榊原忠雄

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、当社の事業運営に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第46期事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は、社是を「技術と人柄」として昭和33年の創業以来、心なし研削盤の研究・開発・製造に邁進してまいりました。産業基盤の下支えが工作機械の特長であります。当社特有の高精度・高能率の研削技術を通じて、鉨工業生産が抱えるより地球にやさしい製品造りという課題に貢献すべく取り組んでまいりました。平成12年には心なし研削盤に次いで内面研削盤の開発に成功し、以後、業績伸張に着実に貢献してまいりました。

また、平成17年6月27日には株式会社ジャスダック証券取引所への上場を果たすことができました。

これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。



代表取締役社長  
白田 啓

当46期は、主需要先であります自動車メーカー等が求める環境・安全対策技術の高度化に対応することができましたため、当社の業績も堅調に推移してまいりました。今後、世界的規模で最も関心の高い地球環境問題に関し、対策のひとつとしてディーゼルエンジンのクリーン化生産技術が掲げられますが、この技術開発を軸とした、高精度・高能率の研削性能に対する要求が更に高まるものと思われまますので、積極的に当社特有の研削技術を研鑽して対応してまいりたいと存じます。

また、全28ヶ国への納入実績をベースに、世界各国に向けたグローバルな販売戦略を行うべく、顧客ニーズを的確かつスピーディに把握し、積極的な販売活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年2月

当期におけるわが国経済は、原油価格高騰や米国での継続的な金融引き締め策実施など、世界経済にとっての不安材料もありましたが、企業の収益性改善に伴う投資効率の向上などから来る設備投資の増加基調に加え、雇用・所得環境の改善による個人消費の増加基調とも相俟って、日本経済は持続的回復から拡大基調の状態に堅調に推移したと思われる。

当工作機械工業界におきましては、主に、主需要先である自動車メーカーが地球規模での省エネルギー、環境問題の解決に取り組んでいることから、ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンとも新型燃料噴射装置（インジェクタ）部品の加工設備投資が大勢であったことにより、堅調に推移してまいりました。

このような経営環境の中において、当社グループ（当社及び連結子会社）は、ユーザーニーズと期待に合致した研削技術及び新機種の開発に傾注し、生産性の向上、原価の低減などのさまざまな施策に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は5,267百万円（前期比25.7%増）、利益については経常利益で801百万円（前期比81.0%増）、当期純利益で451百万円（前期比69.2%増）となりました。

また、所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

#### ①日本

国内においては、市場及びユーザーニーズに応える積極的な販売展開を行った結果、売上高は4,927百万円（前期比27.8%増）、営業利益は563百万円（前期比30.9%増）となりました。

#### ②北米

米国においては、大口取引として4社に8台を販売したほか、テスト研削などの要望が多く、売上高は906百万円（前期比0.8%減）、営業利益は60百万円（前期比82.8%増）となりました。

#### ③欧州

ドイツにおいては、設立3年目で初めて製品売上を計上し、売上高は90百万円（前期比5,557.2%増）、営業損失は18百万円（前期比42.9%減）となりました。



■ 心なし研削盤 (センタレスグラインダ)

心なし研削盤とは、研削砥石、調整砥石及びブレードの3点支持により、主に丸棒やリング形状の素材の外周面を丸く加工する工作機械であります。



**MPC-150m型**  
デスクサイズの超コンパクトセンタレスグラインダ。極小径加工物の高精度・高能率研削に威力を発揮する超小型機。

**MQS-300型**

多品種少量生産における段取替え作業の能率に優れたコンパクトな研削砥石2軸可動型多機能センタレスグラインダ。

■ 内面研削盤 (インターナルグラインダ)

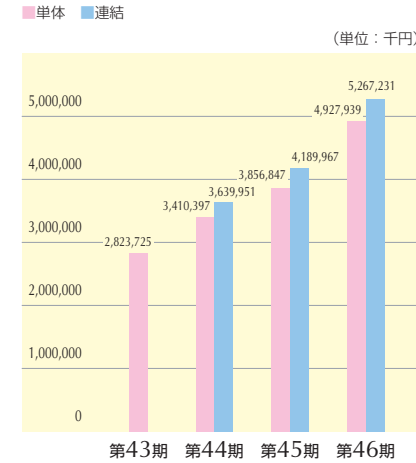
内面研削盤とは、比較的小径の研削砥石により、主に円筒及びリング形状の加工物の内周面を丸く加工する工作機械であります。



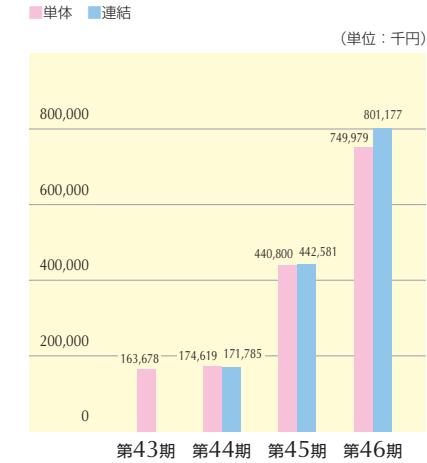
**MIG-220P型**

ダブルチャック、ダブルスピンドル採用により、内面の2ヶ所同時加工が可能。2工程の研削加工を1回のチャッキングで行うことにより高精度・高能率の内面研削加工を実現。

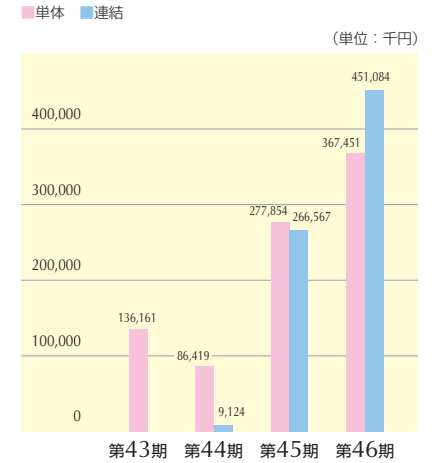
売上高



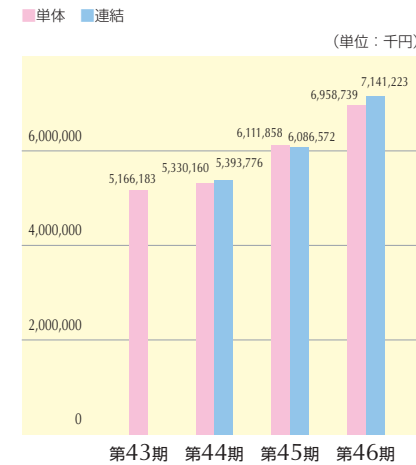
経常利益



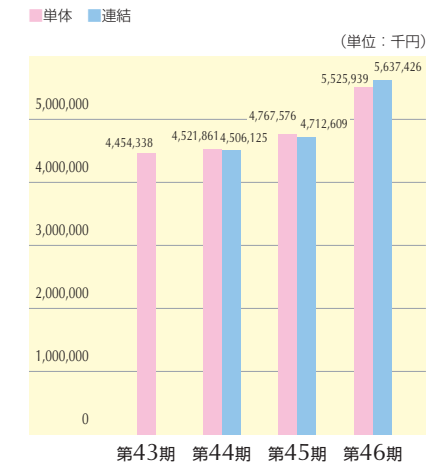
当期純利益



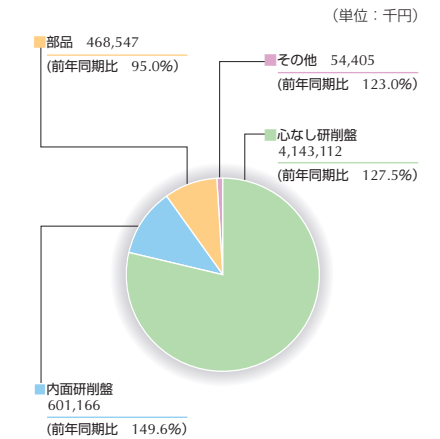
総資産



純資産



事業別売上高構成 (連結)



■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成17年11月30日現在	前連結会計年度 平成16年11月30日現在	科目	当連結会計年度 平成17年11月30日現在	前連結会計年度 平成16年11月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	3,973,436	3,238,419	<b>流動負債</b>	1,269,008	1,156,209
現金及び預金	329,768	422,144	買掛金	277,821	288,952
受取手形及び売掛金	1,628,396	1,145,000	短期借入金	306,084	314,001
有価証券	119,680	103,190	未払法人税等	244,665	170,892
たな卸資産	1,757,490	1,432,428	製品保証引当金	32,000	24,000
繰延税金資産	105,793	101,905	その他	408,437	358,362
その他	33,519	36,715	<b>固定負債</b>	234,787	217,753
貸倒引当金	△ 1,212	△ 2,965	繰延税金負債	6,250	4,448
<b>固定資産</b>	3,167,787	2,848,152	退職給付引当金	7,037	19,854
<b>有形固定資産</b>	1,357,001	1,445,361	役員退職慰労引当金	221,500	193,450
建物及び構築物	753,643	786,402	<b>負債合計</b>	1,503,796	1,373,962
機械装置及び運搬具	244,388	310,992	<b>資本の部</b>		
土地	226,223	224,300	<b>資本金</b>	651,370	491,870
建設仮勘定	51,120	36,789	<b>資本剰余金</b>	586,750	338,000
その他	81,624	86,877	<b>利益剰余金</b>	4,318,613	3,958,589
<b>無形固定資産</b>	23,113	54,295	その他有価証券評価差額金	90,037	15,554
連結調整勘定	1,223	4,894	為替換算調整勘定	△ 8,584	△ 91,405
その他	21,889	49,400	自己株式	△ 760	—
<b>投資その他の資産</b>	1,787,671	1,348,495	<b>資本合計</b>	5,637,426	4,712,609
投資有価証券	1,452,512	988,265	<b>負債及び資本合計</b>	7,141,223	6,086,572
繰延税金資産	114,036	138,075			
その他	223,073	225,673			
貸倒引当金	△ 1,950	△ 3,520			
<b>資産合計</b>	7,141,223	6,086,572			

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成16年12月1日から 平成17年11月30日まで	前連結会計年度 平成15年12月1日から 平成16年11月30日まで
売上高	5,267,231	4,189,967
売上原価	3,709,012	2,924,495
<b>売上総利益</b>	1,558,219	1,265,471
販売費及び一般管理費	955,732	837,024
<b>営業利益</b>	602,486	428,447
営業外収益	230,011	59,633
営業外費用	31,321	45,499
<b>経常利益</b>	801,177	442,581
特別利益	1,540	59,775
特別損失	13,963	9,334
<b>税金等調整前当期純利益</b>	788,753	493,022
法人税、住民税及び事業税	366,806	257,000
還付法人税等	—	△ 130
法人税等調整額	△ 29,138	△ 30,414
<b>当期純利益</b>	451,084	266,567

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成16年12月1日から 平成17年11月30日まで	前連結会計年度 平成15年12月1日から 平成16年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 170,516	△ 197,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 320,520	△ 693,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	321,276	273,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	93,873	△ 30,656
現金及び現金同等物の減少額	△ 75,886	△ 648,240
現金及び現金同等物の期首残高	525,334	1,173,575
現金及び現金同等物の期末残高	449,448	525,334

■ 連結剰余金計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成16年12月1日から 平成17年11月30日まで	前連結会計年度 平成15年12月1日から 平成16年11月30日まで
<b>資本剰余金の部</b>		
資本剰余金期首残高	338,000	338,000
資本剰余金増加高	248,750	—
増資による新株の発行	248,750	—
資本剰余金期末残高	586,750	338,000
<b>利益剰余金の部</b>		
利益剰余金期首残高	3,958,589	3,736,802
利益剰余金増加高	451,084	266,567
利益剰余金減少高	91,061	44,780
配当金	69,561	34,780
役員賞与	21,500	10,000
利益剰余金期末残高	4,318,613	3,958,589

■ 単体貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成17年11月30日現在	平成16年11月30日現在
資産の部		
流動資産	3,475,572	2,892,325
固定資産	3,483,167	3,219,532
有形固定資産	1,163,907	1,272,638
無形固定資産	21,889	49,400
投資その他の資産	2,297,370	1,897,493
資産合計	6,958,739	6,111,858
負債の部		
流動負債	1,204,262	1,130,977
固定負債	228,537	213,304
負債合計	1,432,800	1,344,281
資本の部		
資本金	651,370	491,870
資本剰余金	586,750	338,000
利益剰余金	4,198,541	3,922,151
株式等評価差額金	90,037	15,554
自己株式	△ 760	—
資本合計	5,525,939	4,767,576
負債・資本合計	6,958,739	6,111,858

■ 単体損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成16年12月1日から平成17年11月30日まで	平成15年12月1日から平成16年11月30日まで
売上高	4,927,939	3,856,847
売上原価	3,572,657	2,770,971
販売費及び一般管理費	791,806	655,571
営業利益	563,475	430,304
営業外収益	217,141	53,323
営業外費用	30,637	42,827
経常利益	749,979	440,800
特別利益	1,711	59,760
特別損失	72,101	9,334
税引前当期純利益	679,588	491,227
法人税、住民税及び事業税	345,000	257,000
法人税等調整額	△ 32,862	△ 43,627
当期純利益	367,451	277,854
前期繰越利益	77,760	80,035
当期末処分利益	445,211	357,890

■ 利益処分

(単位：円)

科目	当期	前期
	(株主総会承認日 平成18年2月24日)	(株主総会承認日 平成17年2月24日)
当期末処分利益	445,211,168	357,890,741
任意積立金取崩額	—	—
特別償却準備金取崩額	5,122,254	5,392,737
固定資産圧縮記帳積立金取崩額	4,396,871	5,537,620
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	82,191,040	69,561,000
取締役賞与金	21,500,000	20,500,000
監査役賞与金	1,000,000	1,000,000
技術開発積立金	—	100,000,000
別途積立金	—	100,000,000
次期繰越利益	350,039,253	77,760,098

■ ジャスダック証券取引所へ上場

当社は、平成17年6月27日、ジャスダック証券取引所に上場いたしました。上場会社としての社会的責任を果たしつつ、株主の皆様のご期待に応えるべく、研削加工を通じて広く産業界に貢献してまいり所存であります。

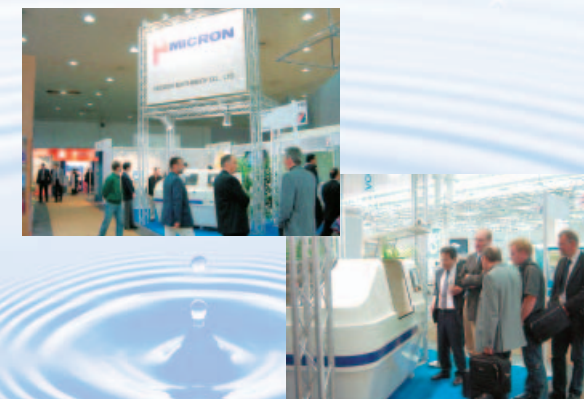


■ ドイツEMOショーへの初出展

世界三大工作機械見本市のひとつ、EMOショー（欧州国際工作機械見本市）が平成17年9月14日から21日まで、ドイツのハノーバーにて開催されました。

このショーは、2年に一度、欧州工作機械工業連盟（CECIMO）が開催する展示会で、米国のIMTS（シカゴ）や日本のJIMTOF（東京）の国際工作機械見本市を上回る総展示面積で、39ヶ国から約2,000社の企業が出展しております。

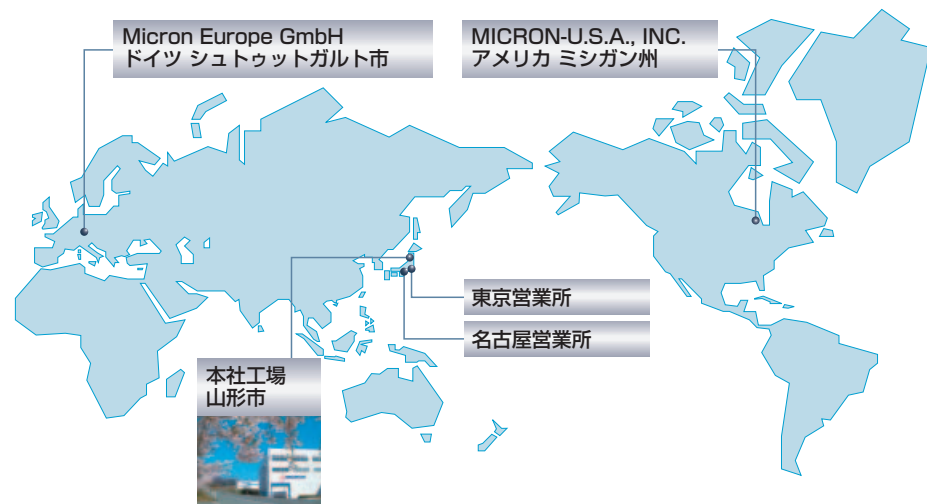
当社は、ドイツ現地法人（連結子会社：Micron Europe GmbH）を拠点としてショーに初出展し、最新鋭の多機能センタレスグラインダMQS-300型の展示及びデモンストレーションを行いました。この機械は、研削砥石2軸可動型で、段取り時間を短縮することで、多品種少量生産に対応するものであります。従来のセンタレス研削では困難であった各種形状の加工に柔軟に対応でき、多くの来場の方々からご好評をいただきました。



世界三大自動車産業地域のひとつでもあるこの地で、来訪者とのコミュニケーションを通し、欧州市場が求めている多くの知識や情報を得ることができました。当社は、今後ともこれら情報を具体化させる新しい技術を創り上げ、顧客の期待に応える機械とならびに工程システムをワールドワイドに提案、提供させていただき所存であります。

■ 会社概要

会社名 ミクロン精密株式会社  
 住所 山形県山形市蔵王上野578番地の2  
 資本金 6億5,137万円  
 売上高 52億6,723万円 (連結)  
 決算日 11月30日  
 従業員数 184名



■ 本社工場 〒990-2303 山形県山形市蔵王上野578番地の2  
 ■ 東京営業所 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目18番5号 3F  
 ■ 名古屋営業所 〒465-0025 名古屋市名東区上社三丁目609番地 3F  
 ■ MICRON-U.S.A., INC. 5150 Falcon View Avenue SE Kentwood, MI 49512 U.S.A.  
 ■ Micron Europe GmbH Zettachring 6, 70567 Stuttgart, Germany

■ 役員

(平成18年2月24日現在)

代表取締役会長 榊原忠雄 取締役 寒河江 茂兵衛  
 代表取締役社長 白田啓 取締役 吉野 靖  
 常務取締役 小松貞生 監査役 鈴木 健治  
 常務取締役 榊原憲二 監査役(非常勤) 平野 熙明  
 取締役 榊原 誠 監査役(非常勤) 山本 順一

■ 会社が発行する株式の総数 9,000,000株  
 ■ 発行済株式の総数 2,568,700株  
 ■ 株主数 1,306名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
ミクロン精密社員持株会	565,670	22.02	309,000	0.18
榊原 忠雄	117,860	4.59		
株式会社山形銀行	95,000	3.70		
日本生命保険相互会社	95,000	3.70		
小松 貞生	85,500	3.33		
白田 啓	84,500	3.29		
新関 脩二	84,500	3.29		
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	75,400	2.94		
ニッセイ同和損害保険株式会社	75,000	2.92		
ピー・エイチ・フォー・フィデリティ・ジャパン・スモールカンパニー・ファンド	70,200	2.73		

■ 株式の分布状況

